

2023年度 課題研究セミナーの実施

1. 対象 自らの研究課題について、研究の背景と目的、方法と結果、考察について発表でき、教員及び参加学生からの質問に回答できる方。他者の発表や他者からの意見を聴き、今後の研究の方向性について学生が主体的に考察することを目的に実施する。
2023年度以降入学者：研究が中間段階に達したところで中間発表を行い、世話教員とコメンテータ教員が研究基礎力（医歯薬学の基礎的素養、専門領域に関する知識、研究の主体的な遂行に必要な能力）について審査する。なお、研究の中間発表には、例えば研究結果として図表2～3枚程度で示される程度の研究の進展を要する。

2. 開催時期

夏季：7月中旬～8月上旬 秋季：10月中旬～下旬

※MS Teams を使用したオンライン開催

3. 発表登録等の各手続時期

	夏 季	秋 季
発表希望者登録期限 コメンテーター候補者登録期限	5/26（金）	8/18（金）
コメンテーターの決定 （博士学務委員会にて）	6/6（火）	8/29（火）
抄録提出期限	6/23（金）	9/22（金）
日程等の公開	7/5（水） 予定	10/4（水） 予定

- ・発表希望者登録内容：学生番号、氏名、希望日、タイトル、コメンテーター候補者
発表締切以降の登録は、いかなる理由があっても受け付けません。
発表日時の変更が生じた場合は、学生相互で交替し、その結果を抄録登録時までに大学院担当へ連絡すること。
- ・発表時間：発表15分程度、質疑応答5分程度 計20分
- ・抄録の文字数：400字～800字程度（英文の場合、A4 1ページ程度）
※抄録集（プログラム）はMoodleに掲載
- ・抄録について：臨床研究の含まれた内容については、倫理委員会の承認番号を抄録に記載すること。
- ・コメンテーター：学生が所属する教育研究分野以外の分野の医歯薬学総合研究科籍、岡山大学病院籍、または寄付講座の助教以上の教員。
研究科学務委員会への申立てにより認められた場合はこの限りではない。
但し、助教以上の教員であっても本学大学院生は除く。
（大学院生と指導教授が相談の上、コメンテーター候補者に内諾を得る）
業務：大学院生の発表を聞き、その場においてコメント・アドバイスを行う

4. 担当世話教員及び役割

- (1) 各大講座の世話教員（別紙 開講講座 及び 世話教員担当一覧のとおり）
- (2) 役割：当日の運営全般
 - ・セミナーの進行を行い、活発な質疑応答になるよう配慮をおこなう。
 - ・大学院生の発表後、コメンテーターよりコメントを受けるよう進行する。
 - ・発表者の交替がスムーズにできるよう配慮をおこなう。
- (3) 研究基礎力審査（2023年度以降入学者）：発表者の研究基礎力を審査する。
最終的な審査結果は、学務委員会にて決定する。

2023年度 課題研究セミナー発表要領

■ 課題研究セミナーでの発表目的：

大学院では、大学院教育の質の向上、学位の質の保証及び学位の国際的通用性を求められている。課題研究セミナーでの発表は、大学院生の課題研究の成果発表会（中間発表）として位置づけるとともに、教員や他の大学院生とのディスカッションを通して、これまでの研究過程からの課題を見いだすとともに、今後の方向性を定めることを目的として実施する。

■ 発表のタイミング：学位申請時までには1回発表すること

研究の初期準備段階ではなく、既に得られている研究実績のあるもの

可能な限り学位課題研究として完成に近いもの

大学院生が、教員とのディスカッションをおこなえるレベルに達していること

■ 発表時期： 夏季：7月中旬～8月上旬 秋季：10月中旬～下旬

（日程は、別途公表）※MS Teams を使用したオンライン開催

発表登録の手順 ※共通コア科目「課題研究」および「専門研究（がんプロフェSSIONALコース科目）」

<https://www.mdps.okayama-u.ac.jp/current-students-graduates/doctor/class-info/>

	内 容	流れ・方法等	夏季日程	秋季日程
1	発表申請・題目とコメンテーターの登録 「コメンテーター候補者」を指名(1名) *指導教授と相談の上、指導教授がコメンテーター候補者に連絡し、内諾を得る。 *発表登録前に必ずコメンテーター候補者と日程の調整を行う。	メール： 学生→大学院担当 Kdf7986@adm.okayama-u.ac.jp	締切 5/26（金）	締切 8/18（金）
2	学務委員会からコメンテーター候補者への委嘱		6/6（火）	8/29（火）
3	発表予定日時の決定 *日程決定後の変更は受けられません	メール： 大学院担当→学生	6月中旬	9月上旬
4	抄録の登録 400～800字程度 (英文の場合はA4 1ページ程度)	メール： 学生→大学院担当	締切 6/23（金）	締切 9/22（金）
5	抄録公開 (Moodle)		7/5（水）頃	10/4（水）頃
6	課題研究セミナーの実施			

※締切を過ぎた登録は、一切受付はできません。

発表当日の手順

	内 容
1	自身の発表時間の開始 20 分前までに、各自のパソコンで MS Teams にログインする。 ※確認作業を怠り、発表当日 Teams への参加やプレゼンテーション資料の投影ができないために発表ができなかった場合は、次回のセミナーで発表となりますので、ご注意ください。
2	世話教員の進行によりセミナー開始 …標準時間 20 分（発表 15 分程度、質疑応答 5 分程度） ※ 発表者の交替をスムーズに行うため、前者の発表後、直ちに発表が開始できるよう予定時間前から待機しておく。
3	自分の発表の順番まで、他の大学院生の発表を聴講しつつ待つ。
4	発表をおこない、質疑応答に対応する。 また、指名したコメンテーターからアドバイスを受ける。
5	終了後は、他の大学院生の発表を聴講する。

2023年度 課題研究セミナー発表要領

■ 課題研究セミナーの目的

課題研究セミナーは、リサーチワークの成果発表会（中間発表）として位置づけられる。教員や他の大学院生とのディスカッションを通して、これまでの研究過程の課題を見いだすとともに、今後の研究の方向性について主体的に考察することを目的としている。この授業は、研究基礎力（医歯薬学の基礎的素養、専門領域に関する知識、研究の主体的な遂行に必要な能力）を審査することも目的としている。

■ 発表のタイミング

研究の中間段階。研究基礎力を示す程度に研究に進展があり、教員、他の学生とのディスカッションを行い得るレベルに達していること。

■ 発表時期： 夏季：7月中旬～8月上旬 秋季：10月中旬～下旬（日程は、別途公表）

■ 発表登録の手順 MS Teams を使用したオンライン開催

※授業題目「課題研究」

<https://www.mdps.okayama-u.ac.jp/current-students-graduates/doctor/class-info/>

	内 容	流れ・方法等	夏季日程	秋季日程
1	発表申請・題目とコメンテーターの登録 「コメンテーター候補者」を指名(1名) *指導教授と相談の上、指導教授がコメンテーター候補者に連絡して内諾を得る。 *発表登録前に必ずコメンテーター候補者と日程の調整を行う。	メール： 学生→大学院担当 Kdf7986@adm.okayama-u.ac.jp	締切 5/26（金）	締切 8/18（金）
2	学務委員会からコメンテーター候補者への委嘱		6/6（火）	8/29（火）
3	発表予定日時の決定 *日程決定後の変更は受けられません。	メール： 大学院担当→学生	6月中旬	9月上旬
4	抄録の登録 400～800字程度 (英文の場合はA4 1ページ程度)	メール： 学生→大学院担当	締切 6/23（金）	締切 9/22（金）
5	抄録公開 (Moodle)		7/5（水）頃	10/4（水）頃
6	課題研究セミナーの実施			

※締切を過ぎた登録は、一切受付できません。

■ 発表当日の手順

	内 容
1	自身の発表時間の開始 20 分前までに、各自のパソコンで MS Teams にログインする。 ※確認作業を怠り、発表当日 Teams への参加やプレゼンテーション資料の投影ができないために発表ができなかった場合は、次回のセミナーで発表となりますので、ご注意ください。
2	世話教員の進行によりセミナー開始・・・標準時間 20 分（発表 15 分程度、質疑応答 5 分程度） ※ 発表者の交替をスムーズに行うため、前者の発表後、直ちに発表が開始できるよう予定時間前から待機しておく。
3	自分の発表の順番まで、他の大学院生の発表を聴講しつつ待つ。
4	発表をおこない、質疑応答に対応する。 また、指名したコメンテーターからアドバイスを受ける。
5	終了後は、他の大学院生の発表を聴講する。

課題研究セミナーでの教員の役割

1. 指導教員

- ・大学院生が中間発表できるよう研究指導する。
- ・研究の状況を考慮し、中間発表となるようタイミングについて大学院生に助言する。
- ・「コメンテーター候補者」（1名）の指名について大学院生からの相談を受け、「コメンテーター候補者」として適任の教員に依頼して内諾を得る。

※ 「コメンテーター候補者」

業務：中間発表を聴き、発表の場においてコメント・アドバイスを行う。

学生が所属する教育研究分野以外の分野の医歯薬学総合研究科籍、岡山大学病院籍、または寄付講座の助教以上の教員。（研究科学務委員会への申立てにより認められた場合はこの限りではない。但し、助教以上の教員であっても本学大学院生は除く。）

学務委員会から「コメンテーター」として委嘱する。

2. 世話教員

業務：当日の運営全般ならびに研究基礎力審査

- ・セミナーの進行を行い、活発な質疑応答になるよう配慮する。
- ・大学院生の発表後、コメンテーターよりコメントを受けるよう進行する。
- ・発表者の交替がスムーズにできるよう配慮する。
- ・2023年度以降入学者の研究基礎力審査：発表者の研究基礎力を審査し、結果を学務課大学院担当に提出する。最終的な審査結果は学務委員会にて決定する。

3. コメンテーター教員

- ・大学院生の指導教員からの依頼を受け、学務委員会より委嘱されたコメンテーターは、課題研究セミナーにて当該大学院生の発表を聴き、コメント・アドバイスを行なう。

※ 指名を受けて内諾した後、都合がつかなくなった場合は、コメンテーター教員が交代教員を指名し依頼する。

4. 発表者が所属する教育研究分野の教員

- ・研究基礎力審査であり、必ず1名以上の分野教員が出席する。